

数理・データサイエンス・AI エキスパート人材育成コース Q&A

Q. 居住地が遠方のため、リモート中心になりますが大丈夫でしょうか？

A. リモート参加を受入可能な連携研究室がある場合には受講できます。本プログラム受講については書面審査、研究室マッチング後 9 月にご連絡します。

Q. 学部学生であるためもし可能であれば、奨励コースの申し込みをしたいと考えています。

奨励コースについて詳しくお教えいただけないでしょうか。

A. 内容やスケジュール、受講条件等に関しましては博士課程学生と変わりありません。

学部生の場合は、学会発表が難しいケースがあると思うので、「奨励コース」という形で受入れさせて頂いています。また、大学院生、社会人になってからこのプログラムを受けたいということがあれば、引き続き受けて頂く事ができます。

プログラムを修了した場合に「学部奨励コース」として修了証を MMDS より発行します。

修了した方が進学した場合は引き続き「前期課程奨励コース」「エキスパートコース」を受講することができます。

Q.第3ステップで、所属研究科で学位取得、とありますが、連携研究室と所属研究室の二つから学位をもらえますか？

A.学位は所属研究科でしか取得できません。

Q.学部生ですが、コース途中で修士になった場合、どうなりますか。

A.MMDS からは第2ステップ修了時に修了証を発行します。

Q. 受入先の研究室は基本的にはアドバイザーとしてサポートして頂けるということでしょうか。

A. 大学院の指導、或いは学位論文の指導と同じで、受入先で、研究室の一員として参加、研究していくことになります。場合によっては TA やメンターが付いてサポートして頂いたり、大学院のセミナーに参加させてもらう場合もあります。

Q. どの研究室が自分にあっているかの判断が難しいが、その辺りのマッチングはどの程度補助頂けるのでしょうか。

A. 申込の際にこんな分野でというイメージがあれば事務局にご連絡頂ければ、私たちの方で適宜アドバイスさせて頂きます。

Q. 修士1年の場合は、現在所属している研究室での研究を進めながら、新しく研究を進める形でしょうか。

A. 現在所属している研究室の身分のままで、別の研究室で受入れて頂いて指導して頂けるというスタイルですので身分的な変更はありません。

Q. 受入先の研究タスクも受けなければいけないでしょうか。その辺りの業務負担は基本的に受け入れ先の研究室と相談して決めれば良いのでしょうか。

A. 研究室に配属するといっても、その研究室の業務を負担して頂くものではありません。開始前のマッチングで、どの程度の頻度で指導して頂きたい、セミナーには参加出来ない事もある、などを相談して頂いて、研究室で了解して頂ければよいと思います。

Q. 理学部ですが、工学系などの別分野を選択することは可能ですか。

A.問題ございません。

Q. 大学卒業後、9月から海外の院進学を目指していて、大学卒業後の約半年間どの大学にも所属していない状態になるのですが、そのような場合でも参加できますか。

A.プログラム開始時点で学生であれば問題ございません。

Q. プログラム開始後、学会発表まで至りましたが、修了しなければいけませんか。

A.修了せずそのまま続けていただいても問題ありません。

Q. 募集資格はありますか。

A.プログラム開始時に大阪大学学生である、もしくは社会人、他大学学生の場合は、HRAM 会員であることとなります。